

2024 年度石油連盟 油流出ワークショップの概要

名 称：油流出ワークショップ

「大規模油流出対応体制への脅威」

日 程：2025 年 2 月 18 日（火）13：30～17:30

オンライン開催

開催の目的：

石油連盟は、毎年新しく興味深いトピックをワークショップに取り入れており、これまでエクソン・バルディーズ号事故（1987）、湾岸戦争による油流出（1991）、ナホトカ号事故（1997）、メキシコ湾原油流出事故（ディープウォーターホライズン、2010）等の大規模油流出事故等、注目に値する事例を取り上げ、そこから学んだ教訓に基づく、油流出対応と準備体制戦略の開発について、解説してまいりました。今回は、「大規模油流出対応体制への脅威」をテーマに、第 12 回油流出ワークショップを開催します。

現在、石油業界における大きな懸念のひとつとして、「ダークフリート」または「シャドウフリート」と呼ばれるタンカー船団に関する事故の増加が挙げられます。これらは、ほぼ例外なく老朽化しており、必要な検査を受けておらず、十分な保険を掛けないまま、追跡できないように規制のない航路を使用して、経済制裁を受けている原油を世界中に輸送しています。この船団は、およそ 600 隻強の船で構成され、過去 2 年間で多数の事故を起こしています。将来発生する事故の主なリスクに、保険が適切に掛けられていないことで、世界中のコミュニティの環境と財政に深刻な損害をもたらす懸念が生じています。今回のワークショップでは、こうした状況に焦点を当て、国際油濁補償基金

（IOPCF）からこの問題の保険について、国際海事機関（IMO）から加盟国にこの問題について警告を出すステップについて、国際タンカー船主汚染防止協会（ITOPF）からこのような事故を取り扱う場合の技術的な側面について、そしてこれらの事故に実際に対応してきた事業者からお話を伺います。

講演終了後には、参加者と講演者が自由に討議するためのセッションを設け、質疑応答の他、講演で提起された問題の理解を確認し、掘り下げます。

言 語：日本語、英語 同時通訳

参加費：無料

主 催：石油連盟

事務局：石油連盟 安全管理部 油濁対策室

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 - 3 - 2 経団連会館

T E L : 03-5218-2306

F A X : 03-5218-2320

【プログラム】

- 13:30 開会
- 13:35 開会挨拶 忍田 泰彦
ENEOS 株式会社 常務執行役員
石油連盟 大規模油流出対応体制整備研究会 委員長
- 13:40 来賓挨拶 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部
燃料供給基盤整備課
- 13:45 (基調講演) **Mr. Gaute Sivertsen**
国際油濁補償基金 (IOPCF)
事務局長
- 14:30 **Mr. Richard Johnson**
国際タンカー船主汚染防止連盟 (ITOPF)
テクニカルディレクター
- 15:10 – 15:20 休憩
- 15:20 **Ms. Patricia Charlebois**
国際海事機関 (IMO)
海洋環境部門 副ディレクター
- 16:05 **Mr. Mauricio Garrido**
T&T Salvage Inc
社長
- 16:50 総合質疑
- 17:20 閉会挨拶 奥田 真弥 石油連盟 専務理事

※上記プログラムは変更の可能性もございます。

※講演時間は講演者1名につき約40分間を予定しています。

※申し込み方法につきましては、2025年1月初めにご案内する予定です。

※最新の詳細スケジュール、講師情報については、ホームページをご確認ください。

<https://www.pcs.gr.jp/p-kokusai/index.html>

以上